

令和元年度事業報告

概 要

令和元年度の釧路市は、主要産業の衰退や少子・高齢化による人口減少に、中々歯止めがかからない引き続き厳しい経済状況でした。そんな中、年度末間際に急速に広まった新型コロナウイルス感染症が全国各地また世界各国に蔓延し、釧路市や釧路管内で感染者が発生しましたが、感染拡大までには至らず、市民生活も大きな混乱はなく、センター事業に関しても影響は極限定的なもので済んだところです。

そういった激動の社会情勢の下、定年退職後等も長年培った知識や経験を活かし地域社会の支え手、担い手として期待されている高齢者のために、安全就業を第一にした就業機会の確保・提供と共に会員拡大を図るべくシルバー人材センター事業における諸活動を、会員並びに役職員が一致協力しておこないました。

特に適正就業ガイドラインによる啓発周知の取り組みを強化するとともに、北海道シルバー人材センター連合会が行う、一般労働者派遣事業を継続的に取り入れることによって、高齢者の多様な就業形態に対応した事業を展開し、入会者増加の兆しが表れ始めました。しかし、65歳定年制や定年後の継続雇用制度等の労働環境の変化や地元産業の衰退・産業形態の変化などにより、退会希望者が入会希望者を上回る状況が続き、前年度対比21名の会員減となり、就業関係では受注件数、就業延日人員、契約金額ともに前年度実績を下回る結果となりました。

事業概要

項 目	平成30年度実績	令和元年度実績	前年度対比
会 員 数	639人	618人	△21人(△3.3%)
受 注 件 数	1,575件	1,473件	△102件(△6.5%)
就業延日人員	44,848人	38,155人	△6,693人(△14.9%)
契 約 金 額	223,674千円	204,619千円	△19,055千円(△8.5%)
就 業 率	74.3%	72.7%	1.6ポイント減

事業の内容

1 安全・適正就業の強化推進

草刈業務シーズン開始前に安全就業研修会を実施し、安全就業と事故防止の啓発を行ったほか、安全就業推進委員会による繁忙期の巡回パトロールを実施し、就業会員や就業先関係者に安全就業意識や健康管理について要請を行いました。会報や地域班会議においても安全就業の徹底を周知し、事故発生を未然に防ぐ努力をしましたが、4件の傷害事故が発生いたしました。

また、シルバー人材センター適正就業ガイドラインの周知啓発を継続し、不適正な業務依頼は受託しないことや発注者及び会員の理解のもと、ローテーション就業推進等による適正な業務運営に取り組みました。

2 会員の拡大

会員100万人達成計画の取組が全国のシルバー人材センターで展開され、当センターにおいても、会員・役職員が新規会員一人獲得運動の推進とロコミによる入会促進活動を継続して実施いたしました。また、ハローワーク釧路に開設された「生涯現役支援窓口」で求職中の高齢者の紹介など連携を図り、釧路市にも協力を要請し、リーフレットの備え付け等実施いたしました。

入会希望者に対しては、随時受付を実施することとし、入会手続きを出来るだけ迅速になるよう対応に努めました。

3 会員組織体制の整備

会員減少による地域班再編成の最終確認と今後の地域班・職群班の役割等について、班長・副班長会議並びにブロック合同班会議等を含め地域班会議で協力要請を行ないましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域班会議においては、全地域での開催ができませんでした。

4 普及啓発・地域支援サービス事業の推進

センターホームページを活用し、インターネットを通じて広くセンター事業の活動状況などを発信、ハローワーク、釧路市などにリーフレットを配布、マスコミなどにも情報提供をおこない、シルバー人材センター事業のPRを展開しました。また各地域の会員が互いに協力し、地域イベント会場などでの清掃ボランティアに参加しました。更に「女性の集い」を開催し、会員や一般市民も交えてセンター事業について交流の場を提供いたしました。

年々高齢化率が進行する釧路市において、一人暮らしの高齢者などからの生活支援サービスの依頼に応えるべく、女性会員の増強と活躍の場提供を図るため、掃除・洗濯・食事作り、除草、除雪などの生活支援業務をできる限り受託いたしました。

5 事業運営等に関する調査研究実施

発注者の多様なニーズを把握するため、北海道シルバー人材センター連合会と共同でセンター活用に関するアンケート調査を行うとともに、会員の技術向上を図るため各種技能講習会開催を研究・検討し、急激に後継者が不足している職種に対応するため企画いたしました。

また、事務局体制に関して、公益社団法人としての事業運営に係る事務の適正化・効率化を一層進め、事務局職員の資質向上を推進するため各種研修会、講習会に出席させました。

6 一般労働者派遣事業の推進

適正就業ガイドラインの周知推進により、請負・委任にはなじまない業務についての点検を行い、北海道シルバー人材センター連合会の実施事務所として、シルバー人材センター一般労働者派遣事業を継続し、高齢者の多様な就業形態に対応いたしました。

年齢別正会員数（令和2年3月31日現在）

区 分	男 性	女 性	合 計	構成比
60歳～64歳	11	5	16	2.6%
65歳～69歳	77	46	123	19.9%
70歳～74歳	138	84	222	35.9%
75歳～79歳	120	47	167	27.0%
80歳以上	63	27	90	14.6%
合 計	409	209	618	
平均年齢	74.3歳	73.6歳	74.1歳	